

セネガルにおける俳句、柔道、空手の浸透

在セネガル日本国大使館

2020年に外交関係樹立60周年を迎えた日本とセネガルの友好関係は、政治外交や経済、開発協力のみならず、文化・スポーツ交流の分野でも発展し続けています。

たとえば、1977年に当時の日本大使がセネガルに紹介した俳句は、1979年以降、当館主催の俳句コンクール等を通じて今日まで人気を博しており、一部学校教育にも取り入れられています。2022年に実施した第34回俳句コンクールには、セネガルを含めたアフリカ、欧州、米州、アジアなどの国から計105作品の応募がありました。



第34回俳句コンクールの受賞者

また、セネガルには多くの柔道・空手愛好者がいます。柔道の競技人口は約6,000人とされており、北部サン＝ルイにて1998年以降、毎年国際大会が開催されています。また、当館は、セネガル柔道連盟及びセネガル空手連盟との協力の下、1961年以降毎年「柔道日本大使杯」を開催しているほか、1970年からはこれに加えて「空手日本大使杯」も開催し、優勝者にトロフィーを授与するなどの協力を実施してきています。2022年3月には、セネガル空手連盟との間で、ダカール空手道場建設計画の署名式を行いました。



2021年柔道日本大使杯の様



2021年空手日本大使杯の様